



猿楽だより

渋谷区立猿楽小学校
令和6年4月30日
No.2

一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じる

副校長 市川 愛美

「一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じる。」とは、令和6年2月に決定された渋谷区教育大綱の中で、「私たちが未来に向けて、いちばん大事にすることです。」と説明していることです。

本校も「子供を信じぬく」ことを、何よりも大事にすることとして、職員に伝えています。また、「一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じ」、育てるために、子供の言葉を多く引き出す授業の推進、探究的な学びの設定、自ら必要な学びを考え・実行する力を育てる家庭学習の支援を行ってまいりました。

さらに今年度から、「一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じ」、育てるための大きな取組として、探究を大切にする「シブヤ未来科」の本格実施が始まります。本校では「さるラボ」と呼ぶ探究の時間です。こちらについては、4月26日（金）の保護者会で改めて御説明させていただきました。

「さるラボ」を行う3年生以上の児童にも、それぞれの学年でオリエンテーションをしました。オリエンテーションの反応としては、さすが猿楽の子供たち！テーマに沿った意見や、探究的なつぶやきが、たくさん飛び交い、やる気を見せてくれました。

今まで取り組んだことがないことに挑戦しますが、猿楽小の教職員は、昨年度から「さるラボ」について、準備を重ねてまいりました。子供たちと一緒に考え、子供と創り、「子ども発」で進めてまいります。御理解・御協力をお願いいたします。（子供の主体性を引き出すために、わざと教員が分からないふりをして見せることも多くあります）

さて、「一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じ」することは、教科の学習にとどまりません。生活習慣を整えることや、友達との関係性を築くこと、あらゆる場面に通じます。子供たちを信じ、繰り返し声をかけ、ときには意図して声をかけず、保護者の方や地域の方に御協力いただきながら、決してあきらめずに育ててまいります。

生活習慣については、今年度の重点は「時間を守ること」です。中でも遅刻の防止は、保護者の方の御理解・御協力なしにはできません。どうぞよろしくをお願いいたします。

友達など人との関係性についての今年度の重点は「あいさつ」です。こちらは「相手を思いやる」気持ちの表れですが、習慣という部分も大きいものです。御家庭でも「おはよ

う」「ただいま」「おやすみなさい」などの挨拶を大切にしてください、学校でも気持ちのよい挨拶ができるよう、お声かけいただけますとありがたいです。

「さるラボ」も「時間を守ること」も「あいさつ」も、一人一人が、その子なりに成長し、成長を実感して今年度を終わてくれることを信じています。

渋谷区教育大綱 前文

つくろう。

ちがいを活かし合える、
未来の学校。

一人ひとりにそなわった、自ら学ぶ力を、信じる。
私たちが未来に向けて、いちばん大事にすることです。

自ら学ぶ力は、一人ひとりちがいます。
一人ひとりちがう、学ぶペース。
一人ひとりちがう、興味の行き先。
一人ひとりちがう、チームでの役割。

そんな子どもたちの力を信じて、
先生たちが応援し、並んで走る。
子どもたち、先生たち、地域が、一緒になってつくりあげる。
それが、私たちが考える未来の学校です。

キノは、キノわず、しっかり身につける。
そのあとも、一人ひとりのペースと興味の行き先次第。

自分にはないモノの見方、自分にはない力を、
教え合って、補い合って、学び合う。
そう、ちがいがあるから、チームの中で活かし合える。
先生だって、子どもと一緒に、学ぶことにワクワクしよう。

使う道具にも、決まりなんてない。
校舎だけでなく、毎日に、この世界のあちこちに、
ちりばめられているヒント。
自由に見つけて、おもしろがろう。
家族や地域の人たちとも、一緒に学ぶ仲間になりたい。

さあ、つくろう。探究しよう。挑戦しよう。
自ら学ぶ力を信じた時。
一人ひとりの心の中で、未来の学校が始まります。